

平成27年度

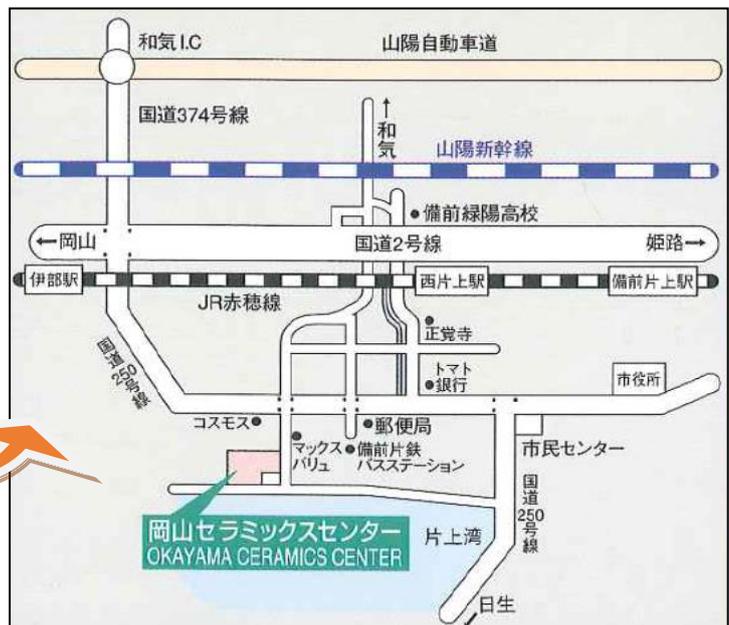
(一財) 岡山セラミックス技術振興財団 研究報告会

— ご 案 内 —

平成27年度における研究成果報告会を次のとおり開催しますので、地域企業の方々、御関係の方々に多数御参加いただきたく御案内します。

- 開催日時 : 平成28年 3月25日 (金) 12:30~15:00
- 会場 : 岡山セラミックスセンター セミナー室
(備前市西片上 1406-18 TEL 0869-64-0505)
- 定員 : 50名
- 参加費 : 無料
- 申込方法 : 別紙の様式により、平成28年 3月18日 (金) までに
FAX (0869-63-0227) でお申込み下さい。
- 申込先 : (一財)岡山セラミックス技術振興財団 事務職員 川端裕美
備前市西片上 1406-18 TEL 0869-64-0505 FAX 0869-63-0227
Mail : erazoku@optic.or.jp
- その他 : お申込み後、御欠席の場合には、代理の方の出席をお願いすると共に事務局に必ず御一報くださるようお願いいたします。

■ 会場案内図



- ・ JR赤穂線で45分西片上駅下車徒歩約8分
- ・ 岡山市内から車で約1時間

■ プ ロ グ ラ ム 各テーマ 発表 15 分 質疑応答 5 分

時 間	内 容
12:30-12:35	<p>開会あいさつ (一財)岡山セラミックス技術振興財団 理事長 吉 鷹 啓</p>
12:35-12:55	<p>炭化物の酸化反応による炭素-炭化物-酸化物系複合材料の気孔の封孔 (一財)岡山セラミックス技術振興財団 主任研究員 前 田 朋 之</p> <p>炭化物は CO ガスでの酸化反応では酸化物と炭素を生成する。この酸化反応は体積膨張を伴い、材料の気孔率を低減することが言われている。本研究では、添加する炭化物種と封孔効果との関係を見かけ気孔率から検討した結果を報告する。</p>
12:55-13:15	<p>Cr₂O₃-Al₂O₃系セラミックスの熱間における電気伝導率と熱拡散率 (一財)岡山セラミックス技術振興財団 主任研究員 西 川 智 洋</p> <p>ガラス溶融炉用耐火物への応用をめざして、Cr₂O₃-Al₂O₃系緻密質セラミックスの 400℃ から 1200℃ までの電気伝導率、400℃ から 1000℃ までの熱拡散率をそれぞれ測定した。Cr₂O₃の比率が 50 mass%のとき、Cr₂O₃-Al₂O₃系セラミックスの熱間電気伝導率は極大を示した。1000℃ における熱間の電気伝導率と熱拡散率の関係は逆の相関性をもつことが示唆され、この現象は Cr₂O₃ と Al₂O₃ の固溶による結晶格子のゆがみに起因すると考えられる。</p>
13:15-13:35	<p>MgO-C れんがへの MgB₂ の添加効果 (一財)岡山セラミックス技術振興財団 研究員 田 中 博 章</p> <p>MgB₂は高温で CO との反応により MgO や B₂O₃などを生成し、組織を緻密化し強度改善などに有効である知見が得られている。そこで、MgO-C れんがに MgB₂を添加して耐食性、耐スポーリング性などを評価したので報告する。</p>
13:35-13:55	<p>炭素含有耐火物に添加した Al と Si の併用挙動 (一財)岡山セラミックス技術振興財団 研究員 尾 形 和 信</p> <p>炭素含有耐火物には試料強度の増加や酸化損耗を抑制する目的で金属や炭化物などの非酸化物が添加され、耐用向上に重要な役割を果たしている。これら添加剤の重要性は、古くから広く認知され、炭素中や耐火物中での反応挙動が多数報告されてきた。しかし、これらの報告は添加剤の単独使用を想定したものが多く、実際の耐火物の様に複種類の添加剤を併用して調査した報告はほとんどない。そこで本実験では添加剤としてメジャーな Al と Si に注目し、両者を炭素含有耐火物に併用添加した時の挙動を調査したので報告する。</p>
13:55-14:00	<p>休憩</p>
14:00-14:20	<p>Al₂O₃-Al₄SiC₄-C 材質の高温酸化特性 (一財)岡山セラミックス技術振興財団 主席研究員 星 山 泰 宏</p> <p>新規複合化合物である Al₄SiC₄の耐火物への応用に関する研究の一環として、Al₂O₃-Al₄SiC₄-C 材質の高温における酸化特性について検討した結果を報告する。</p>
14:20-14:40	<p>複合炭化物の合成と炭素含有耐火物へのその添加効果 (一財)岡山セラミックス技術振興財団 主任研究員 西 川 智 洋</p> <p>複合炭化物 (Al-B-C 系) の中規模量の合成について検討した。また炭素含有耐火物への添加効果を検討する前段階として、Al-B-C 系化合物の各種雰囲気 (主に炭素中の還元雰囲気) による高温反応について検討した結果を報告する。</p>
14:40-15:00	<p>高機能耐火材料の研究開発 ～多形状炭化物-炭素粒子の合成～ (一財)岡山セラミックス技術振興財団 主任研究員 前 田 朋 之</p> <p>本研究ではカーボンブラックおよび木質炭素を用いて、炭素粒子表面に炭化物が存在する炭化物-炭素粒子の合成を試みた結果を報告する。</p>
15:00	<p>閉 会</p>

平成27年度 (一財)岡山セラミックス技術振興財団
研究報告会参加申込書

平成28年 月 日

会社名 :
申込者 :
連絡電話 () -

案内のあった報告会に次のとおり参加を申し込みます。

No	参加者名	所属/役職	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			